

4-3-3

お月見をしよう

毎年 十五夜（中秋の名月、旧暦8月15日）に近い週末に、北村家で子どもたちと一緒にお月見団子をつくり、お月見の飾りつけをします。子どもたちには米を石臼で引く米粉つくりと、米粉にお湯を加えこね、かまどの大釜で茹で、さらに団子の形にしてセイロで蒸しあげるまでの行程を体験してもらいます。そして、北村家の庭でみたらしやきなこでお団子を試食し、お月見をします（天候に左右されますが）。その後、科学館に移動してプラネタリウムと屋上の望遠鏡で月の観察をします。

お月見の飾りに使う里芋は、北村家前の畑で環境・整備チームが育てた里芋を実際に土から掘り出す様子も見てもらっています。

平成24（2012）年までは、お月見団子だけではなく、かまどの薪で炊いたご飯でおにぎりをつくり、野菜たくさんのけんちん汁も作っていました。

昨年平成26（2014）年は、旧暦の関係で十五夜がまだ残暑の厳しい時期にあたり、十三夜（旧暦9月13日）に変更してこの行事を行いました。

この行事は、炉端の会を中心に実行委員会を結成して実施しています。



茹でる前の作業



飾り付け完了

（編集委員 9期 火曜 吉田）